

癌化学療法輸液約束処方 多発性骨髄腫:MM 2

癌種 再発・難治性多発性骨髄腫
 レジメン名 MM 2 KRd

薬品名(商品名)	一般名	略号	標準投与量	投与経路	投与日	1コース期間
レブラミド	レナリドミド水和物		25mg/day	内服	DAY1~21(1週間休薬)	28日間
デカドロン	デキサメサゾン	DTX	40mg/day	内服	DAY 1 .8. 15 .22	
			4mg/day	div	DAY 2 .9. 16	
カイプロリス	カルフィルゾミブ	KPL	20mg/m2(1コース目のD1,2のみ)	div	1~12コース:DAY 1,2,8,9,15,16	
			27mg/m2(1コース目のD8以降)		13コース以降:DAY 1,2, 15,16	

【DAY 1,8,15】静注

- ① NS 250ml / 60分 ☆デカドロン40mg内服
- ② 5% Tz 50ml / 全開
- ③ 5% Tz 100ml + カイプロリス mg / 10分
- ④ 5% Tz 50ml / 全開
- ⑤ NS 250ml / 60分

【DAY 2,9,16】静注

- ① NS 250ml / 60分
- ② 5% Tz 50ml + デカドロン 4mg / 全開
- ③ 5% Tz 100ml + カイプロリス mg / 10分
- ④ 5% Tz 50ml / 全開
- ⑤ NS 250ml / 60分

<調整方法> 10mg/Vは 5ml、40mg/Vは20mlの注射水で溶解(2mg/ml)し、5%ブドウ糖液に希釈する。
 本剤は 6.5%過量充填されているため、実充てん量は10.7mg, 42.6mg

- <備考>
- ① 本レジメンは、少なくとも1つの標準治療が無効または再発した患者が対象。
 - ② 投与量は1コース目のday1,2のみ20mg/m2,それ以降は27mg/m2。投与限界:体表面積2.2m2以上の患者は2.2m2で算出。
 - ③ Ccr 15ml/min 未満:本剤中止。透析時:20mg/m2以下の投与量を透析後に行う。
 - ④ Grade4の血液毒性、Grade3の非血液毒性発現時は休薬。
 - ⑤ 心障害:QT延長あり。定期的に心電図、電解質チェックすること。
 - ⑥ デカドロンによる有害事象(消化器毒性、浮腫、錯乱・気分変化、筋力低下、高血糖など)発現時は減量基準により減量。
 (急性膵炎:デカドロンは永続的に中止)

<副作用対策(オプション)>

【腫瘍崩壊症候群】経口水分補給:初回投与48時間前から投与当日まで。30ml/kg/日
 アロプリノールまたはフェブリク:初回投与の48時間前から開始。

【静脈内血栓塞栓症】アスピリン、クロピドグレル、低分子ヘパリン、ワルファリン等